

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	利用者様が住み慣れた地域と環境で生き生きと、その方らしい生活が継続できるように通い・訪問・宿泊のサービスを組み合わせ、柔軟な対応を心掛けている。
事業所名	あったかほーむ下野堂	管理者	中林 潤		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所自己評価でまとめた改善策を次回までに行えるよう職員間で周知徹底していく。	コロナが5類に移行したが、コロナによる制限が未だにあるが、昨年度と同様室内での余暇活動を充実させ、イベントに力を入れた。	スタッフの意見が反映されていると感じられます。	引き続き事業所、自己評価でまとめた改善策を次回までに行えるよう職員間で周知徹底していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	来年度はコロナの状況を見て運営推進会議を開催し、環境整備も引き続き行い、環境衛生に努める。	コロナの状況を見ながら、運営推進会議を開催することができた。玄関などの目の付くところに利用者様の作品や本庄市の風景の写真展を開き、見ていただいている。	生活空間や周囲の環境整備は良く出来ている。運営推進会議に合わせて、イベントに参加させて頂けると施設内の雰囲気分かりやすい。	引き続き環境整備を行い、来年度は運営推進会議時に行事計画し見学して頂ける機会を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	市や包括等の活動に協力・連携する事で地域の方に対して事業所の事や福祉の事について知ってもらえる機会を作っていく。	西包括支援センターと協力し、出張オレンジ・カフェを開催し、市内の方に事業所の事を知っていただく機会を作れた。	ブログや事業所発信の新聞にも外出やイベント等の様子が掲載されておりいい。オレンジカフェには喜んで来る方も多。	西包括支援センターと協力し、あったかオレンジカフェを通じて、地域の皆様に事業所の事や福祉の事について知っていただく機会を作っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	行政や地域包括からの紹介も増えていきているので、困難事例の経験も重ね事業所単位で成長できるようにする。	近所の買い物に出かけることを積極的に行った。地域の納涼祭参加のお誘いを受けたが、コロナ等の影響があり、思うように参加出来ていない。	個人の要望に添う外出や催し物が出来ている。数名の方は地域や包括と連絡を取り、生活を支えている支援が出来ている。	自治会の行事等に参加し利用者様以外の方々との交流を図り、事業所を知って頂く。また、地域の皆様の生活を支えるためにどんなことが出来るのかを地域と連携を図りながら実施していく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>書面開催しているので書面を活用しアンケート等で情報収集するなど工夫していく。</p>	<p>対面での運営推進会議を開催することができ、情報共有・意見交換を行うことが出来た。(災害時の対応方法、自宅での転倒事故件数や独居高齢世帯数など。)</p>	<p>出席を促すためにもご家族様にも制度の仕組みについても理解して頂ける良いと思う。来た時に、気軽に相談するきっかけにしてもらえたら良い。</p>	<p>地域の中で心配な方や困っている方はいないのか、会議中で確認していく。困りごとや事例があれば意見交換し検討をしていく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>備蓄の食材・日用品等を定期的に確認し非常時に備える。災害に対する意識を高める為、内部でも研修を検討していく。</p>	<p>備蓄の食材・日用品等を定期的に確認し、買い替えを行った。BCP(業務継続計画)を策定し、災害に対する意識を高める為の内部研修も行った。</p>	<p>非常時の食料の完備が出来ている為、何かあった時は地域の方々も助けを求めることができ安心だ。</p>	<p>今年度に事業所の避難訓練に運営推進会議の方々だけでなく、市の職員も出席できるよう計らう。また、地域の防災訓練にも参加できるよう情報収集を行う。</p>